

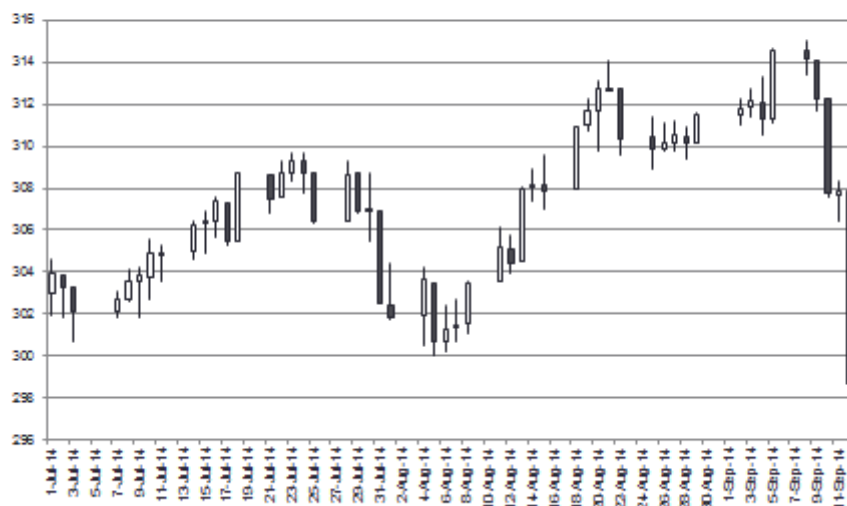
過去の利上げ局面における米国株の動き（2014年9月22日）

## REITは大きな下落

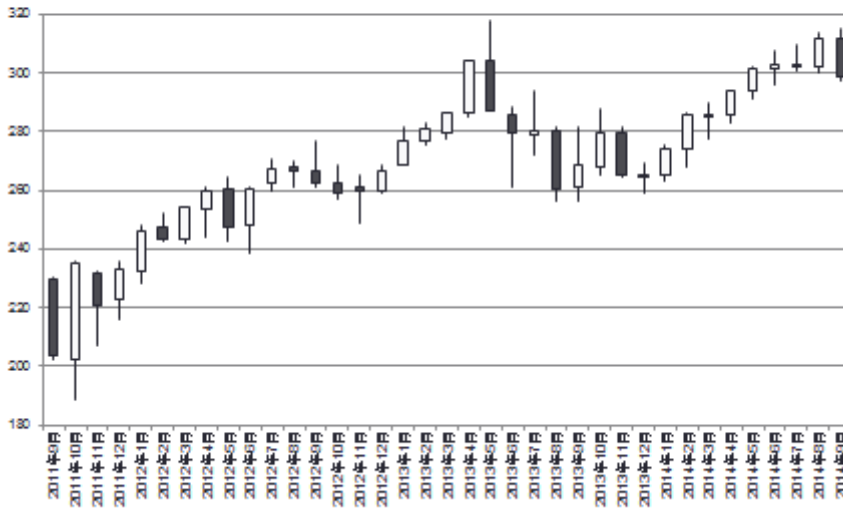
先週はいいとここどりの1週間でした。すぐに利上げはないから米国株はまだ買える。でも来年年末には利上げがあるだろうからドルは買い。よって米国では株高ドル高。しかし株価の先行指標となるREITは大きな下落となり去年の4月5月の高値と共にダブルトップを構成した感が強い。

1

## 米国REITは想定外の下落(DJR:ポイント)



## DJRはダブル・トップをつけた可能性(月足:ポイント)



### 過去の利上げ局面の米国株の動き

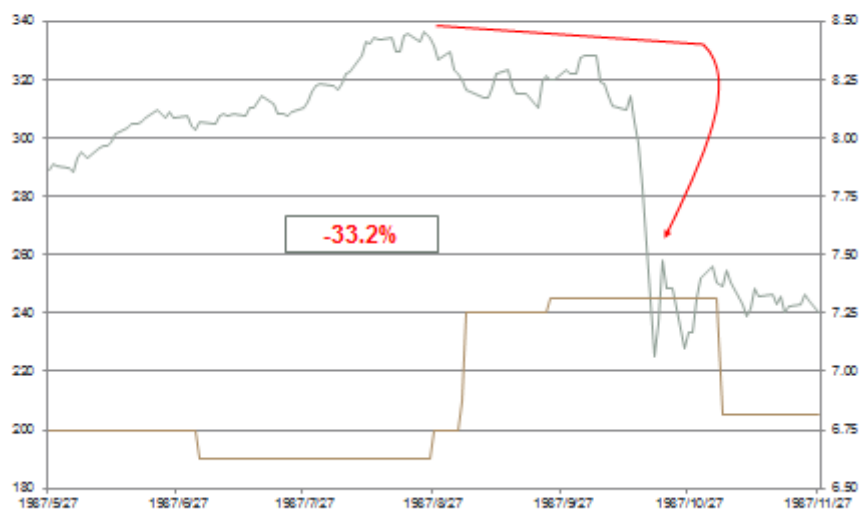
REITは利上げを織り込んでいる。これは米国におけるダウ公共株などの配当期待株も同じ。相場全体は業績相場に突入した。

## FFレート(ターゲット:%)の推移 2008年12月16日以降は上限金利

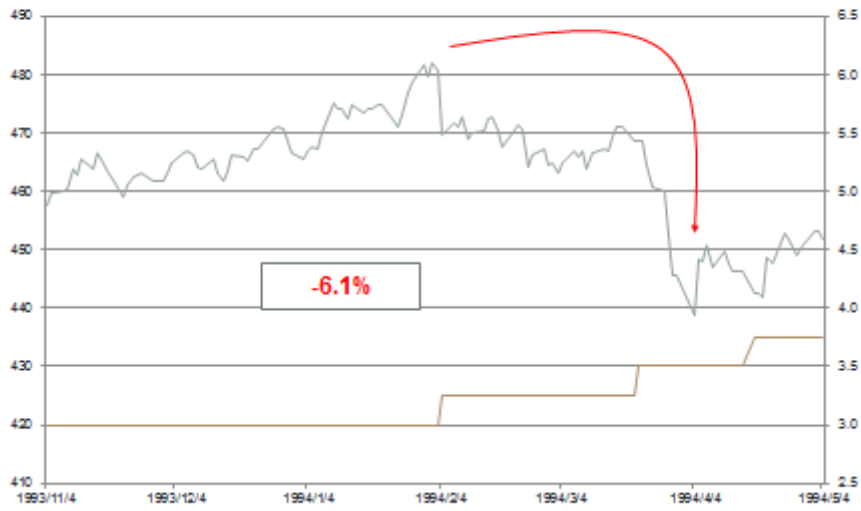


では過去の利上げ局面での米国株の動きはどうか。過去5回分を観察する。

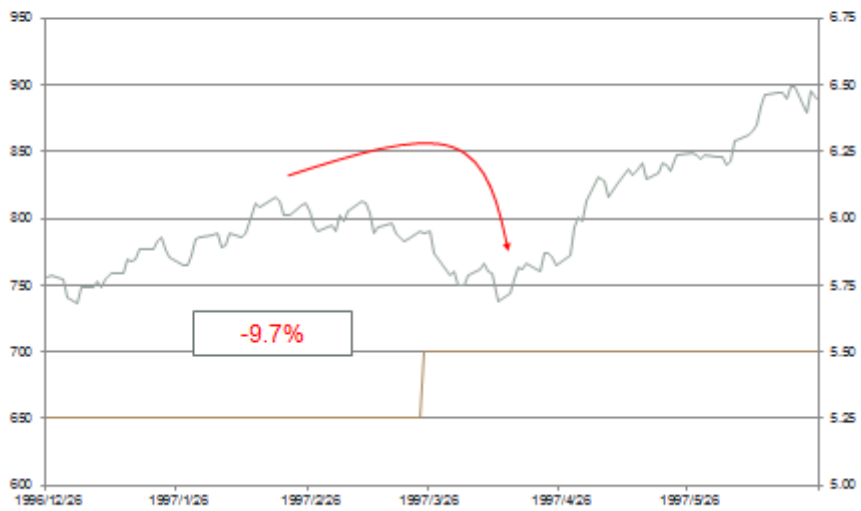
## 過去の利上げ局面と株価の動き①: 1987年5月～11月



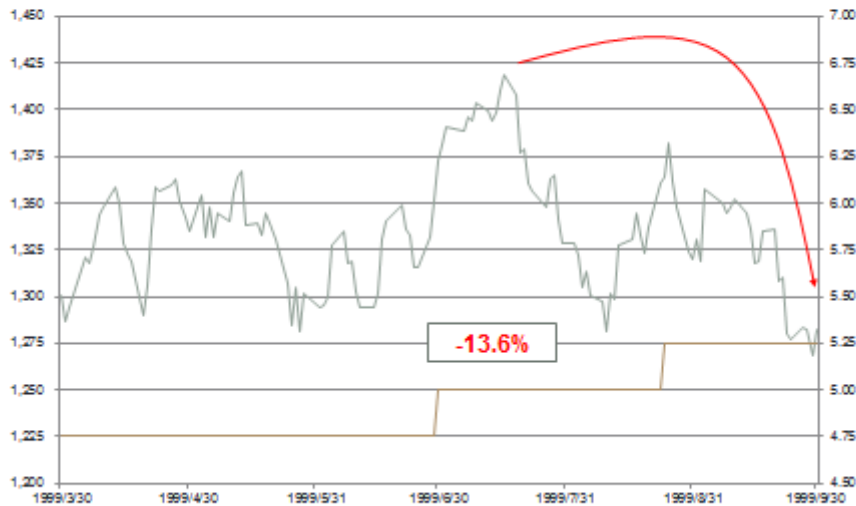
## 過去の利上げ局面と株価の動き②: 1993年11月～1994年5月



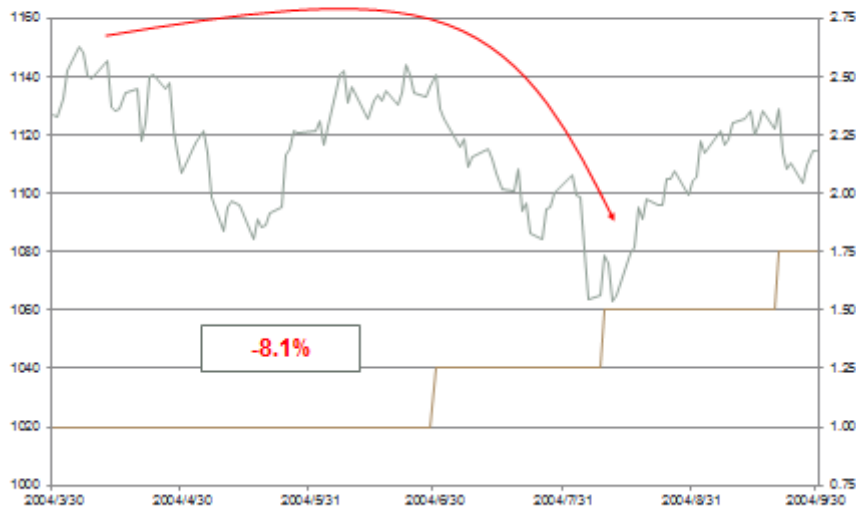
## 過去の利上げ局面と株価の動き③: 1996年12月～97年5月



## 過去の利上げ局面と株価の動き④: 1999年3月～9月



## 過去の利上げ局面と株価の動き⑤: 2004年4月～9月



やはり株価は調整する。ただそのタイミングをここだと当てるのは難しい。しかしREITは明らかに調整を示唆している。乱気流は近い。シートベルトを締めておく必要がある。

新しい本が出ます。このあたりのところは全部は書ききれなかったけれど、先を読み取る方法とその大切さには言及しています。一度手に取って見て頂ければ幸いです。

